

## 大谷學報 第十九卷 總目次

號數 頁 通頁

六祖壇經に關する二三の意見 ..... 鈴木 大拙 ..... 一 ..... 一

西山上人の佛教觀 ..... 安井 廣度 ..... 一九 ..... 一九

聖提婆に歸せられたる中觀論書(承前) 「智心髓集に提示せられたる、毘婆沙師、經量部、瑜伽行派及び中觀派諸教學の要略」

山 口 益 ..... 一 ..... 三 ..... 三

戸松憲千代 ..... 一 ..... 三〇 ..... 三〇

佐々木求巳 ..... 一 ..... 10K ..... 10K

藤谷 一海 ..... 一 ..... 110 ..... 110

大谷大學圖書館 ..... 一 ..... 卷末

加藤 智學 ..... 二 ..... 一 ..... 五

龜田 次郎 ..... 二 ..... 七 ..... 七

大友 芳雄 ..... 二 ..... 七 ..... 七

——カント理論哲學から實踐哲學へ——

入菩提行(Bodhicaryavatāra)の所説による寂天の著述

の決定と、それに引説せられたる龍樹の著書に就て ..... 星

——第五章一〇五、六、七箇の解釋——

我が國に於ける寺院文庫の歴史的考察	小野則秋
大谷大學藏疏假名書觀門義について	藤原幸章
四帖	100
大谷本廟沿革考	小串侍
十地思想の起源に關して	
——龍山草真著「梵文和譯十地經」を讀みて——	舟橋一哉
開悟院講師の經藏を訪ねて	桑谷觀宇
現生十種益の研究	稻葉圓成
——現實生活の指導原理——	戸松憲千代
大納言源隆國の『安養集』に就いて	八幡昭和
梵文大乘莊嚴經論にあらはれたる三性説管見	中川
——求法品(Dharmaparyesty-adhikaray)第十二を中心として——	
自然必然性、先驗的自由、實踐的自由(下)	野澤靜證
——カント理論哲學から實踐哲學へ——	三四
兒童の宗教意識發達に關する實驗的研究	大友芳雄
主として就學前期及び低學年兒童に就いて——	八三
本多前學長・小島・赤沼教授を偲ぶ	守屋光雄
大日本國衆散聖德太子奉讚に就いて	日下無倫
	五三
	五九

## 大谷學報 第十九卷 第四號

一七四

## 二種の涅槃界について

林 邦 四三 七一

## 聖提婆に歸せられたる中觀論書(完結)

山 口 四三 七〇

——智心體集の餘、及びその他の小著——

益 四三 七一

## 宋代以後の淨土教と善導

道 端 良 秀 四三 八九 六七

## 隆寬律師の門弟と傳承の一斑

自 見 直 四一 一〇九 六七

## 近世に於ける眞宗宗名の一件に就て

宮 田 利 雄 四一 一六 七一

新刊紹介 一四一、三三三、五一九 六八八

新刊紹介 一四一、三三三、五一九 六八八

研究室彙報 一四八、三三二、五二六 六九五

研究室彙報 一四八、三三二、五二六 六九五

昭和十三年度學部開講學科目及講義題目 三四〇

昭和十三年度學部開講學科目及講義題目 三四〇

昭和十二度年學部卒業生氏名卒業論文題目 三四〇

昭和十二度年學部卒業生氏名卒業論文題目 三四〇

會計報告 一五四

會計報告 一五四

交換寄贈圖書雜誌目錄 一五四、三三六

交換寄贈圖書雜誌目錄 一五四、三三六